

伝えたい、守りたい、まちの宝物

【File No. **32** | 御殿火鉢 ござんひばち 岩村町98番地 (岩村歴史資料館所蔵)】



代々の岩村藩主が使用した御殿火鉢

岩村歴史資料館は、岩村町本通りが一望できる藩主邸跡に建っている。所蔵品は、岩村城や岩村藩に関する貴重な資料や文化財などが多数ある。その所蔵品の中に「御殿火鉢」がある。これは代々の藩主が使用し、明治維新後、岩村上町の染物悉皆業「吉岡屋」に譲渡された。創業者の鈴木彦平は、天保の飢饉の際に農業から転身して京都へ染物修行の旅に出た。京都で吉岡屋と言えば染屋の代名詞のような屋号で、一乗寺下り松で宮本武蔵と決闘した吉岡道場一門に由来するという。

岩村の古い町並みにはさまざまな屋号の商店などが建ち並んでいて、それぞれの由来やルーツを探ってみると日本の歴史の一コマを垣間見ることができて非常に興味深い。

ひとロメモ

1月17日(日)午後1時半から恵那文化センターで染織史家、吉岡幸雄氏(京都府)を招き源氏物語の色彩をテーマに講演会を実施。当日は十二単の襲の色合いを間近で見ることができる。講演会は入場無料。問い合わせは市中央図書館☎25-5120まで。



美術館へようこそ！ 展覧会のご案内

1月10日(日)は“市民の日”。市民に限り**観覧無料**です。受付で「恵那市民です」とお伝えください。

企画展「花鳥風月 広重の世界 - 四季の移ろいとやまと歳時記 -」は1.17(日)まで

1月2日(土)
1月10日(日)
は観覧無料

【2展同時開催企画展】 会期 **1.21(木) - 2.21(日)** ※毎週月曜日と2月12日(金)は休館

第40回岐阜県移動美術館 ■展示室1(1F)

「東濃ゆかりの画家たち」※観覧無料



山本芳翠
「灯を持つ乙女」
岐阜県美術館寄託作品

山本芳翠、熊谷守一、前田青邨
など東濃地方に縁のある画家たちの作品を展示します。

問 中山道広重美術館 TEL 0573-20-0522
<http://hiroshige-ena.jp>

「豎絵東海道」 ■展示室2(2F)

●有料



歌川広重
《五十三次名所図会》
「四十五 石薬師
義経さくら範頼の祠」

広重晩年の五十三次シリーズを全点そろいで展示します。

次号は
1月15日号
発行日は
1月15日(金)です

広報えな No.257
2015年(平成27年)
12月21日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎26-2155/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』1月1日号、1部当たりの印刷経費は約16.1円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインクは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

